

町優秀賞を授与しました



新谷奈々さん（大南・伊予農業高等学校3年）は、第18回全国高校生パンコンテストの地産地消高配合部門に出場し、「みかんをギュッと！ねじりパン」という作品で、優秀賞・江川太郎左衛門賞と特別賞・東京製菓学校賞を受賞されました。これを表して砥部町から優秀賞を授与しました。

2月27日 役場にて

県指定無形文化財「砥部焼」の技術保持者に認定されました



二宮好史さん（五本松）が県指定無形文化財「砥部焼」の技術保持者として認定され、認定書伝達式が行われました。

二宮さんはろくろ成形技術や、素地を彫り釉薬を埋め込む釉象嵌ゆうそうかんの技術など、砥部焼の高度な技術保持者として認定されたものです。

3月5日 役場にて

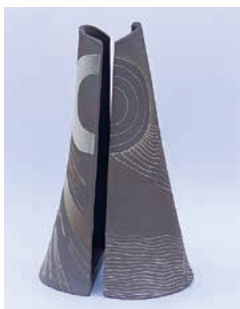
松山南高等学校砥部分校の生徒が優秀な成績を収められました

第3回全国やきもの甲子園 2024



伝統工芸賞 石崎美晴さん（松山南高等学校砥部分校2年）

大きな大皿を作成したいという思いで制作に挑みました。完成した大皿は直径38cmで、2月17日には美濃焼ミュージアムでの表彰式に出席しました。今回の作品は、自分ではまだまだ大きさに満足していません。他校の生徒の作品を実際に見ると思っていたよりもはるかに大きく驚きました。進学先として興味を持っている学校の先生方にも評価をいただき、今まで以上に大きな大皿を制作したい意欲が高まりました。



佳作 河端美花さん（松山南高等学校砥部分校3年）

有限会社伊予鋳業所で開発された赤砥土を使って左右一對のミニュメントを制作しました。土をプレス機で板状に延ばし、型紙に合わせて切り、赤いコーンに乗せてカーブを作りました。ある程度乾いたら底を作り、素焼きします。砥部の土を吹きつけて色をつけました。素焼きはオレンジ色になってかわいい！どの工程も大変で陶芸をしている方はすごいと改めて思いました。高校生活最後に陶芸の賞をいただけてうれしいです。

第35回読書感想画中央コンクール 高等学校の部



自由読書部門 優秀賞 中川文さん（松山南高等学校砥部分校2年）

作品名 自分でしかない

「何者でもない」（講談社刊）を読んで感じたのは、誰を演じようと、どう振る舞おうと自分は自分であるということです。自分という一生逃れられないものに縛られているということを3人の同一人物で表しました。この作品は自分でも気に入っていたため、優秀賞をいただけてとてもうれしかったです。

